

災害支援

◆宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）が台風10号被害の3町に見舞金を贈呈
 復旧事業の一助にしてほしいと、芽室、清水、新得の3町に各100万円を寄付した。芽室、清水、新得の各役場を8日、同社の宇佐美恭広副社長と高道伸専務が訪れ、各町長に手渡し

災会議条例の一部改正など3件を原案通り可決した。町教育委員会委員に山下博氏を新任、石山新一氏を再任する議案に同意した。
 （伊藤亮太）

たし写真は清水町。
 また、グループ会社の登寿ホールディングス（同、



高道伸専務、宇佐美恭広副社長（右から）から寄付金を受け取る高薄渡町長

グループ合わせ被災地に500万円
 宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は8日、台風10号で甚大な被害に遭った芽室町と清水町、新得町にそれぞれ義援金として100万円を送ったし写真。中でも被害が大きかった清水町には、グループの登寿ホールディングスからも200万円を渡した。各町内でさまざまな施工実績があり、いち早く



復旧してほしいと支援を決めた。このうち清水町では高薄渡町長に宇佐美恭広副社長と高道伸専務本店長が面談して「復旧に少しでも役立ててほしい」と見舞いの言葉を添えて義援金を手渡した。
 高薄町長は、町施設の被害が道路と河川だけで100億円に上ると伝え、「これまでも災害の度に支援してもらっている。本当にありがたい」と感謝した。

北海道台風被害

被災地支援

登寿ホールディングス

清水町など3町に見舞金

早期復旧願い総額500万円を寄付

【帯広発】宮坂建設工業
(株) (帯広、宮坂寿文社長)

をはじめとする登寿ホールディングスは八日、十勝管内で台風の被害が特に大きかった清水町など三町に計五百万円を寄付した。清水町では、宇佐美恭広副社長が高薄渡町長に見舞金として手渡した。写真。

台風による記録的な豪雨に見舞われた十勝管内では、各地で河川の氾濫や堤防決壊、道路の寸断などの

被害が発生した。

同社では、全社挙げて災害復旧工事に取り組んでいるが、「さらに、被災した地域の方々の役に立ちたい」として、現金を寄付することを決めた。清水町、芽室町、新得町にそれぞれ

百万円のほか、最も被害の大きかった清水町に対しては、登寿ホールディングスから二百万円が贈られた。

この日、宇佐美副社長、高道伸専務が清水町役場を訪問。宇佐美副社長が高薄町長に見舞金を贈呈した。



高薄町長は「宮坂建設工業は、これまでも災害の際には復旧工事などに非常に尽力されている」と感謝の言葉を寄せていた。

宇佐美副社長は「いろいろお手伝いさせてほしい。一日も早い復旧につながれば」と話していた。